



前大田区議会議員(2期) 大田区へ政策提言

● ゆもと良太郎 プロフィール ●

昭和51年5月10日

大田区大森生まれ(おうし座A型)。大森幼稚園・大森第五小・日大三中・日大三高を経て明治大学商学部貿易コース卒。大学在学中より都議会議員秘書となる

平成15年4月

大田区議会議員選挙に自由民主党公認若干26歳で初出馬、初当選(5536票)。66候補者中3位。新人1位

平成19年4月

大田区議会議員選挙にて、2期目の当選(5419票)

平成22年6月

自由民主党離党

平成23年4月

大田区議会議員として2期8年間区民のみなさまのために働かせていただきましたが、大田区の行政運営に疑問を感じ、大田区議会議員3期目の選挙を出馬せず、大田区長選挙に出馬。1000億円を超える巨大ハコモノ計画、区職員天下り先の外郭団体拡充計画に真っ向から反対の意を唱える。また、積極的に民間投資を大田区に集める区政運営を提言するも当選ならず。しかしながら、同区長選挙後、巨大ハコモノ計画、区職員天下りの外郭団体拡充計画はともに事実上進展していない

平成23年6月

苦杯を嘗めた区長選挙後、サラリーマンとして働きながら社会活動に積極的に参加をする。また、衆議院議員渡辺孝一代議士事務所スタッフとして、事務所運営のお手伝いをしながら国政と地方自治の運営について学ばせていただく

平成26年

日本政策学校に入学し、金野索一氏に師事し政策について学ぶ。地元大田区で生まれ育ち、2児の父親として大田区で子育てをし、改めて地域社会の大切さを知りました。みなさまと共に、より良い大田区をつくるために熱い思いで活動中

お気軽にお問い合わせ下さい

ゆもと良太郎事務所

〒143-0011 東京都大田区大森本町2-31-10

TEL.03-3765-1464 FAX.03-3765-1482

<http://www.yumoryo-otacity.jp>

info@yumoryo-otacity.jp

高齢化社会

●今後日本はどの位のスピードで高齢化するでしょうか…

2010年	高齢化率	23.0%
2015年	高齢化率	26.8%
2030年	高齢化率	31.6%(推計)

(総務省日本の人口推計と高齢化率の推移より)

●では日本の生産年齢人口は…

2010年	8,103万人
2015年	7,681万人
2030年	6,773万人(推計)

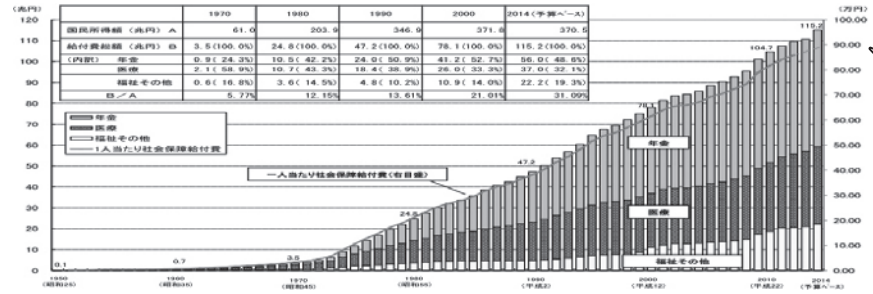
(国立社会保障・人口問題研究所より)



上記の通り、今後数十年の間に高齢化率は急速な伸びを見せています。それと共に生産年齢人口(15歳～64歳)は減少していきます。大きな視点で見ると、少子化対策を着実に実行し出生率の上昇を実現することが、最大の高齢化社会問題に対する解決の方法とも言えます。それだけ社会の担い手を育みやすい社会を作ること重要であると考えます。

高齢化社会に対応するためには

左記の内容と共に現在直面している課題解決を図らなければなりません。財政的な問題を度外視すれば高齢者が様々な事情で安定的な生活を送れなくなったら入所可能な施設をたくさん建設すればよいのかもしれませんが。しかし右肩上がりの社会保障給付費の推移から考えても現実的には非常に無理があります。



右肩上がり!

社会保障費に割く予算が増えれば増えるほど、子育て支援などの現役世代への支援がうすくなってしまいます。こうなるとは左記の内容と逆行をし、ますます先細りの社会になってしまいます。

そこで在宅支援を手厚くし、施設に入らなくても安心して生活を送れる社会を作らなければならないと考えます。しかし現在の勢いで高齢化が進んだ場合に介護に携わる人材は相当数不足します(すでに現在でも介護現場からは人材不足を指摘する声が多くあります)。大田区としては急速に進む高齢化社会に対応すべく人材の発掘と育成に力を入れなければなりません。また、介護に対する知識や経験が浅くても買い物、掃除のような生活支援など比較的容易に行える作業を地域の方々に担っていただく仕組み作りも積極的に進めていく必要があることに着目をし、行政施策に反映をして参りたいと考えております。

事務所開き

ぜひお越し下さい

平成**27**年**4**月**4**日(土) **11**時より

会場 : **ゆもと良太郎事務所**
大田区大森本町2-31-10